

第 1479 回例会報告

平成28年10月13日(木)晴れ

会長挨拶

会長 河西達雄

ロータリー財団・米山奨学会 寄付について

皆さま充分ご存知だと思いますが、本日はロータリー財団・米山奨学会寄付について話をさせていただきます。

ロータリー財団は国際ロータリーが行う募金活動で、ポリオ撲滅、青少年交換留学生、世界平和の維持活動など国際的なロータリーの奉仕活動のために使われます。

また、寄付した金額のおおよそ50%が地区資金として寄付したクラブに3年後に還元され(事業計画が認められる必要がありますが)クラブの活動に使用することができます。

米山奨学金は、日本と外国の懸け橋となれる日本在住の留学生に支給される奨学金です。

■ポールハリスフェロー

ロータリー財団の表彰で、1000ドル寄付につき1回受賞できます。表彰としてバッチが届きます

■米山功労者

米山奨学会の表彰で、10万円寄付につき1回受賞できます。表彰として、表彰状が届きます

ロータリー財団、米山奨学会ともに1セントまたは1円から寄付できます。そして、寄付された金額は個人名で記録され、累計がロータリー財団は1000ドル、米山奨学会は10万円に達した時に表

彰されます。

今年の地区目標は、ロータリー財団一人200ドル、米山奨学会一人2万円です。ただしロータリー財団寄付はクラブとして一人3000円、米山奨学会寄付も一人3000円を寄付してありますので、ロータリー財団は、現在のロータリーレートで一人17400円、米山奨学会は一人17000円の寄付が目標額です。

目標額や1回での受賞にこだわらず5000円でも1万円でも寄付をして、ロータリー財団、米山奨学会に貢献しましょう。

来週から、国際奉仕委員会の席で受け付けが始まります。

◇幹事報告◇

【理事会報告】

11月例会予定

月	日	回数	内容	担当
11	3		休会	
	10	1481	会員卓話 私の職業奉仕	職業奉仕
	17	1482	溝口会員卓話	クラブ会報 雑誌広報
	24	1483	IM内容発表	IM実行
12	1	1484	諏訪湖ロータリークラブ 諏訪湖浄化事業の歴史 30年を振り返る	社会奉仕

■出席報告

会員数 38名
出席対象 37名
出席者数 30名
出席率 81.1%
前回修正 91.9%

■ニコニコBOX

4名 9,000円
累計 160,300円
目標額 60万円
達成率 26.7%

■今週のことば

社中学、出前授業に行ってきました。

平山隆勇

地区大会ご苦労様でした。

河西達雄



2) 次年度会長ノミニーを選出するための選考委員が承認されました。過去6期の会長、現会長、0会長エレクトの8名で構成いたします。

3) 退会届が提出されました。会長一任となりました。

4) 11月のセブ島訪問の詳細が発表されました。次週カンパを募集します。

【受領文書】

1 ロータリーコーディネーターニュースが届いています。

今月の結婚祝



今月の結婚祝。左から小口直久、近江誠一、蒲地整志、平山隆勇、林洋三、高林一紀、西澤賢二の各会員です

第 1479 回例会

米山奨学生卓話!

米山奨学生 蘆郁さん卓話

担当 国際奉仕委員会

本日は米山奨学生蘆郁(ロン イク)さんをお迎えし米山留学生卓話をしていただきました。

世話クラブである松本空港ロータリークラブのカウンセラー有田一男様にもご同行いただきました。ここから感謝申し上げます。



蘆は苗字です。郁は名前です。郁は昔珍しい石の種類、玉です。石家荘市生まれです。

日本は世界中で高レベルの医学技術を持ち、信州大学は河北省医学分野の中でもとても有名です。生活習慣病についての研究のため来日しました。生活習慣病とは、生活習慣が要因となって発生す

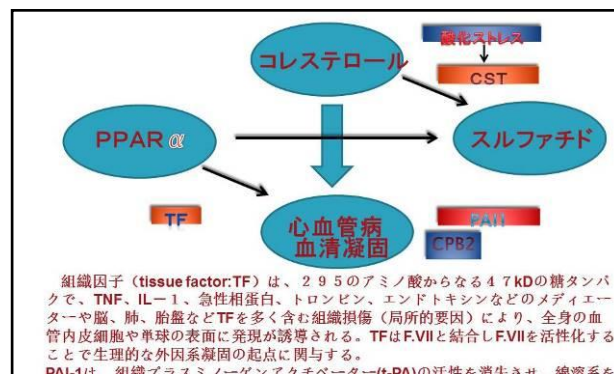
る疾病を指すための概念です。具体的には、高血圧、糖尿病、脂質異常症、動脈硬化、頭痛などの症状があります。

生まれつき生活習慣病になりやすい遺伝子を多くもっている人は、それほど悪い生活習慣をもっていなくても発症する可能性がある。逆にその遺伝子をあまりもっていなくても、悪い生活習慣が重なると発症すると考えられています。



以前の研究ではコレステロールで心血管病を引き起こす原因はプラークと言う小さな腫瘍のようなものが動脈壁中に形づくられ、最終的に血液の通路を詰まらせてしまいます。血液供給が完全に遮断されると心臓の筋肉の一部が死に心臓病発作が起きるとされていました。

私の研究は、それ以外で、コレステロールで心血管病を引き起こす新しいメカニズムを発見することで、それはコレステロールと新しい抗血栓因子スルファチドの関連があると考えました。その通りで、脂質代謝について重要な因子PPARαのあたらしい役割を発見しました。(中略)



私の研究から、コレステロールとスルファチドとPPARαの新しい関連性が示されました。PPARα機能を高めて血清スルファチドを維持することで、コレステロール摂取に伴う心血管病発生を阻止できる可能性を世界に提案するため、現在最後の実験を研究し、論文作成に取り組んでいます。この研究が活用され、心血管病に対する新しい治療方法や予防方法の開発が進むことを期待しています。

今後、私は研究の知識をもっと深め、研究を続けたいと考えています。日中の医療交流や、日中友好を促し、ロータリーの願う世界平和のためにも役に立つことができると考えています。

ご清聴ありがとうございました。